



千葉商科大学同窓会

千葉商科大学同窓会ニューズレターは、同窓会が年1回発行する広報紙です。

同窓会情報誌「きずな」は、維持会費納入者を対象に年3回お届けし、大学の最新情報や同窓会の活動状況をお伝えしております。

お申込み・問い合わせは、同窓会事務局およびWebサイトにて承っております。

☆ご意見、ご要望を

お聞かせください☆

[TEL&FAX] 047-371-2665

[E-Mail] salon@all-cuc.org

同窓会 Web サイト

<http://www.all-cuc.org/>



公式Facebook

ID : cuc.kizuna



公式Instagram

ID : allcucit



[発行者]

千葉商科大学同窓会

広報・IT委員会

〒272-8512

千葉県市川市国府台 1-3-1



若手・中堅卒業生が参加してくれる同窓会を目指して！

同窓会は、より多くの若手・中堅卒業生が参加できる環境を整えるため、さまざまな取り組みを進めています。その一環として、近年瑞穂祭にあわせて開催される定期総会・懇親会の開催案内は3年連続で返信がなかった卒業生は翌年から送付対象外としてきましたが、その送付対象を60歳以下の卒業生全員（約4万名）に拡大し、より広い世代に周知活動を推進しています。この取り組みは、気兼ねなく参加できる雰囲気醸成し、多くの卒業生に同窓会活動への関心を高めてもらうことを目指しています。

さらに、地域に根ざしている支部での同窓会活動をより活発にするため、本部が補助を行う仕組みづくりも実行に移しています。これにより、多くの卒業生が身近な支部活動を通じて同窓会に関わり、同窓会に維持会員として参加してもらえることを期待しています。地域ごとの支部活動が強化されることにより、卒業生同士のネットワークがより一層深まり、同窓会全体の活動の活性化につながっていきます。

また、若手・中堅卒業生が参加しやすいよう、大学ではキャリア支援セミナーやネットワーキングイベントなど、実用的な情報を提供するイベントも企画・実施されています。さらに、SNSやメールマガジンを通じた情報発信を強化し、同窓会の活動やイベント情報を迅速に伝えることで、卒業生がいつでも気軽にアクセスできる環境を整えています。

同窓会は、今後も若手・中堅卒業生が積極的に参加できる環境を整え、全世代が共に成長できる場としての役割を強化していきます。

参加しやすい同窓会を目指して

ーリアルとオンラインのハイブリット化を推進ー

同窓会では、時代の流れに合わせて2022年まで対面で実施されていた各会議のオンライン対応を実施しております。この新しい取り組みにより、遠方に住む卒業生や仕事で忙しいメンバーも積極的に参加できるようになり同窓会活動のさらなる活性化が期待されています。

同窓会では、これまで対面での会議を基本として活動を行ってきました。しかし、近年のデジタル化の進展や、2020年以降のパンデミックによる外出や同窓会活動の自粛を受け、オンラインでの会議が重要な選択肢として浮上しました。これにより時間や場所に縛られずにメンバーが参加できるようになり、より多くの意見やアイデアを取り入れることが可能になりました。

オンライン会議はZoomなどのプラットフォームを活用して行われます。これにより、どこからでも参加可能です。また、会議の録画機能を活用することで参加できなかったメンバーも後から内容を確認できる仕組みを今後導入していく予定です。

オンライン化に対する出席者からの反応は非常に様々ですが、概ね好意的に捉えられています。パンデミックによる活動自粛を境に、これまで参加が難しかった地方在住の卒業生やオンラインでの交流に慣れている世代の卒業生からはオンラインでの参加が可能になったことに感謝の声が寄せられています。また、ある参加者は「オンライン化によって、より多くの卒業生とつながることができ、同窓会がさらに身近に感じられるようになった」と話しています。

同窓会は、リアル・オンライン会議を今後も継続し、さらに多くの卒業生が参加できる仕組みを整える計画です。

同窓会活動のデジタル化を進めることで卒業生同士の絆をより強固なものとしていきます。

これからの同窓会にご期待ください。



◇同窓会情報◇

1. 卒業生たちの活躍を紹介します

この1年も多くの卒業生の皆様が各方面でご活躍されていると思いますが、その中でも特に素晴らしい功績を挙げられている4名の方をご紹介します。

1984（昭和59）年3月に経済学科を卒業された青野元一さんが2024年4月1日付でリーガルコーポレーションの社長に、1988（昭和63）年3月に経営学科を卒業された関根一志さんが2024年6月27日付でスパリゾートハワイアンズを運営する常磐興産の社長に、それぞれご就任されました。

また、令和6年春の叙勲において、1965（昭和40）年3月に商学科を卒業された鎌田定明さんが旭日単光章を、1977（昭和52）年3月に商学科を卒業された高橋伸治さん（現同窓会長）が旭日小綬章を受賞されました。

2. 2024年度ホームカミングデーは11月3日・4日の2日間！定期総会や各種イベントも開催予定！

今年も瑞穂祭開催期間である11月3日（日）・4日（月祝）は卒業生のホームカミングデー期間です。

3日（日）午後は、主に卒業後10年目までの卒業生を対象とした「ホームカミングデー」（大学・同窓会共催、卒業後10年目以降の方も参加可）を開催、4日（月祝）の午後は「第55期定期総会&懇親会」を開催します。

また、瑞穂祭での企画・出し物として「バザー」（3日）、「懐かしき思い出工房」の展示、写真部OB・OG会「写真展」（共に両日）を行います。



◇大学情報◇

1. 原田嘉中名誉理事長逝去される

学校法人千葉学園の原田嘉中名誉理事長（前理事長）が、2024年2月21日に94歳で逝去されました。原田名誉理事長は、1967年から2019年までの52年間、長きに亘り学園の発展のため尽力されました。なお、お別れ会は5月20日東武ホテルレバント東京にて執り行われました。

2. 「CUC UNITY CAFE」（卒業生と在校生との交流会）を開催します！

11月4日（月祝）11:00～12:15に千葉商科大学本館7階大会議室において、卒業生と在校生との交流会「CUC UNITY CAFE」を開催します。女性の就労支援や教育分野で活躍されている堀江由香里さん（本学OG）によるトークショー、ケーキを食べながらのワークショップなどを予定しています。参加費は無料です。なお、参加者にはプレゼントもご用意しております。

参加申し込み等の詳細は同窓会サイトをご確認ください。

3. 週刊エコノミスト特別編『徹底解剖 千葉商科大学』が発行されました！

毎日新聞出版株式会社より週刊エコノミストのムック本『徹底解剖 千葉商科大学』が7月16日に発売されました。

本書では創立100周年を迎える母校が進める教学改革の詳細や、SDGsに関連する取り組み、そして日商簿記1級の合格者数が累計200名を超える「瑞穂会」に関する特集が掲載されています。また、商大卒の経営者へのインタビューや親子で卒業生となった方々の対談記事など、興味深い内容が満載です。

2025年度に全学改組を控えた千葉商科大学の「今」をこの一冊でぜひお確かめください。問い合わせは同窓会事務局までご連絡ください。

◇ 同窓会情報誌「きずな」の裏表紙を飾る広告掲載企業募集 ◇

「きずな」の裏表紙に、卒業生が働いている企業の広告を掲載しませんか？ 広告掲載は1年単位（年3回掲載）です。

詳細は「きずな」編集委員会、広報・IT委員会もしくは同窓会事務局までご連絡ください。

◇ 同窓会維持会費納入のお願い ◇

基盤強化のため維持会費の納入促進を図っております。ご協力賜りますようお願い申し上げます。維持会費を納入していただいた方には、同窓会情報誌「きずな」を年3回送付させていただきます。

<タイムスリップ「2000年頃の学食」>

2000年頃のCUCの学食といえば、瑞穂会館（現The University HUB）に「生協食堂」、「eat」や「どん太」、「カフェテリアみずほ」、アゴラの「マクドナルド」、体育館の「リコルド」がありました。現在は「The University DINING」「学生ベンチャー食堂」「リコルド」があります。卒業生も飲食可能なので、近くにお立ち寄りの際はぜひ学食をどうぞ！